

# コンクリート診断士研修会 参加報告

山口 貴幸 環境建設技術分野

## 1. はじめに

社会資本としてのコンクリート構造物のストックが、すでに膨大な量に達しており、これらを適切に維持管理し、補修・補強を行う必要がある。そのため、コンクリート構造物に関する高度な診断能力を有する専門家を養成する必要がある、「コンクリート診断士」の資格制度がそれに貢献している。この資格は、継続教育と新しい技術の習得のため、4年ごとに更新講習を受けなければならない。私が資格を取得して4年経過するので、下記の日個別研修として受講させて頂いた。

開催日：平成28年10月14日

会場：都市センターホテル

東京都千代田区 平河町2丁目4-1

私の主たる技術分野であるコンクリート工学では、技術革新が目まぐるしく、特に補修や補強に関しては、新たな工法・材料の開発が進んでいる。特に劣化診断に関することは私の研究支援内



写真-1 研修会の様子

容に関連が深く、今回の講習会で改めて理解を深める意義は大きかった。

## 2. 講習会の内容

表-1に講習会プログラム、写真-1に講習会の様子を示す。最初に、最新の診断技術の紹介と規格の改定などが紹介された。続いての特別講演では、東北復興道路での建設工事で用いられているコンクリート構造物の品質確保の工夫についての事例が紹介された。最後に、ケーススタディとして、劣化状況の写真や供用環境など、限られた情報をもとに、その劣化の原因や対策方法などを考察するもので、かなり難易度が高く、勉強になった。

## 3. 講習会を終えて

学生の指導に当たって、研究範囲の狭い領域のことだけではなく、できるだけ実務に近い観点からアドバイスするように心がけている。しかし、私の知識が実務に追いついていない部分があった。そのような部分を解決するため、このような講習受講によって得られた知識を活かしていきたい。

表-1 研修会プログラム

時間	内容
13:00 ~ 13:30	開会挨拶・診断技術改定の要点
13:50 ~ 14:20	特別講演「東北復興道路でのコンクリート構造物の品質・耐久性確保と表層品質評価技術の活用」 細田 暁 (横浜国大)
14:35 ~ 16:40	ケーススタディ (劣化事例の紹介と考察)